
「パーキンソン病患者の自宅退院に影響を与える要因の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、【埼玉医科大学病院 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2019年1月1日から2021年8月31日の期間に当院脳神経内科にパーキンソン病と診断され入院された患者さんを対象としています。

2. 研究の目的

本研究の目的は、パーキンソン病患者の自宅退院に影響を与える要因を検討することです。

3. 研究期間

承認日 ~ 2027年3月31日まで研究の実施を予定。

4. 利用または提供の開始予定日

2024年7月15日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

試料：なし

情報：

基本属性：

年齢、性別、身長、体重、Body Mass Index (BMI)、意識レベル(Japan Coma Scale : JCS)、修正 Hoehn Yahr stage、発症後期間、既往歴、変形性脊椎症の有無、疼痛の有無(部位)、服薬情報入院期間、再入院の有無(PDによる入院のみ含む)、リハビリテーション開始までの期間、転帰、起立性低血圧(OH)の有無、せん妄の有無、介助者の有無

認知機能：

Mini-mental state examination (MMSE)

運動機能・日常生活動作：

握力、姿勢、基本動作能力：Ability for Basic Movement scale (ABMS)

歩行能力：機能的自立度評価法(Functional Independence measure: FIM)の移動項目、

Functional Ambulation Categories (FAC)、ADL：Motor FIM

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院リハビリテーション科において、研究責任者である篠田裕介が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

パーキンソン病と診断された患者さんの診療記録を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院 リハビリテーションセンター 中村 亮太

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

【問い合わせ先（対応時間：平日 8：30 ～ 17：30）】

埼玉医科大学病院 リハビリテーションセンター 中村亮太

住所：埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38番地

電話：049-276-1339

研究課題名：パーキンソン病患者の自宅退院に影響を与える要因の検討

研究責任者：埼玉医科大学病院 リハビリテーション科 篠田裕介